

いつの時代にもTBIは 歯科衛生士の重要課題。

指導に悩むことも多いようですが、導き方・伝え方次第で、TBIの成果が変わります。本稿では、段階別TBIの実践法をご紹介します。

沢口由美子

●1979年、東京都歯科医師会附属歯科衛生士専門学校卒業・杉並区児玉歯科勤務(約10年)。
●学校法人呉竹学園東京医療専門学校歯科衛生士科教員勤務(約3年)。
●フリーランスとして東京都中村歯科医院をはじめ各歯科医院に勤務、現在に至る。
●各種企業でのセミナー多数。歯科医院の売上をあげる沢口式歯科衛生士の院内セミナー主催。
●ホワイトニングコーディネーター認定・日本歯科人間ドックコーディネーター認定

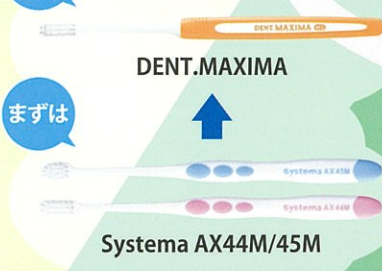


道のりは続く...

TBIの目的はセルフケア指導だけではなく、健康維持のための行動変容を促すことでもあります。「偶然の出会い」から始まる生涯にわたる患者さんとの二人三脚をTBIをきっかけに始めたいものです。

患者さんが上手になる...
ブラッシングスキルにあわせたTBIの道のり

さらに **お薦め歯ブラシ：上級**



STEP 8
より細かなケアのために。
基本スキルをマスターした方には、超薄型小型ヘッドのSystema AXを導入。口腔内の状態やスキルの上達に応じてラウンド毛のDENT.MAXIMAに変更し、より細かなケアができるよう指導。

ブラッシングスキル **上級編**



上を目指して!

STEP 7
「また定期的にいらしてください」の一言を必ず添えて終了。
これで生涯安心ではないことをお伝えします。

ブラッシングスキル **中級編**



STEP 5
患者さんの上達度を3つの角度で見極める。
① 歯肉の色が健康的になってきたか
② ブラッシングに時間をかけているようか
③ もっと教えてほしい!との意欲がでたか
SRPによる歯肉改善のサポートも怠りなく!

STEP 6
歯ブラシを変更し、磨き方の基本を指導。
歯ブラシをDENT.EX systema genkiからDENT.EX systema44M,H、もしくは42M,Hに変更。ここで初めてブラッシング圧、毛先の当て方などの基本スキルを指導。



お薦め歯ブラシ：中級
DENT.EX systema 44M/H・42M/H
Hタイプは毛が硬いわけではなくMタイプと同じ毛を1.4倍植えて刷掃能力を高めています。

STEP 4
初回後、患者さんの上達、やる気がでるまでじっと待つ。
患者さんがブラッシングの意味を理解し、動き出すまでは、根気よく待つ!
たとえ来院直前の「くる時磨き」に気づいても、怒らない! 口をださない!

STEP 3
自分できれいにできたら指導終了。
口がさっぱりした、気持ちいい! といった感覚が患者さんの「やる気」に大切な要素。
やりすぎの指導はNG。相手をうんざりさせるだけ。

STEP 2
良いところをまずほめる。
磨き残しは、やんわり指摘。
Good!



プラークコントロールが不良でも...



DENT.EX systema genkiを使えば、楽々落とせる。

磨けていない部位を最初から指摘するのは逆効果。

初回 磨くと気持ちいい 体験重視で!

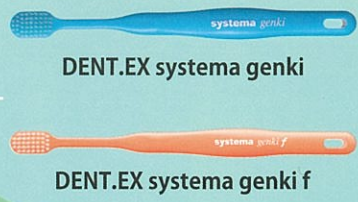
STEP 1
患者さん自身に磨いていただく。
歯ブラシはDENT.EX systema genkiがオススメ。幅広ヘッドで一度に広い面積が磨ける。スーパーテーパー毛(超極細毛)なので歯肉にやさしく安心。
最初から駄目だしは禁物。患者さんは最初からやる気喪失。



ブラッシングスキル **初級編**

大型ヘッド 歯ブラシでスタート!

お薦め歯ブラシ：初級



START!